

TV Connector



(テレビコネクター)

取扱説明書



Easy Line.
Accessories



ごあいさつ

TV Connector (テレビコネクター) をご購入いただき、ありがとうございます。

TV Connector (テレビコネクター) は、補聴器をテレビや音源に直接、接続することでご利用いただけます。

ご購入いただいた TV Connector (テレビコネクター)

補聴器購入店： _____

電話： _____

TV Connector (テレビコネクター) 製造番号：

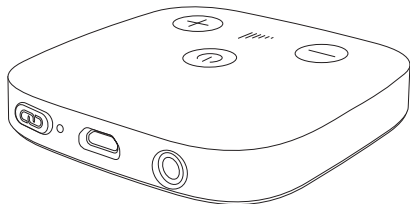
保証日： _____

購入日： _____

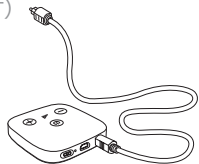
パッケージ内容

TV Connector (テレビコネクター) の構成部品

TV Connector (テレビコネクター)



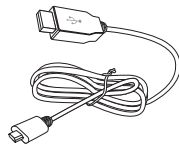
光デジタル (TOSLINK) オーディオケーブル (TV Connector (テレビコネクター) にあらかじめ取り付けられています)



3.5mmアナログオーディオケーブル



マイクロUSBケーブル



電源装置



目次

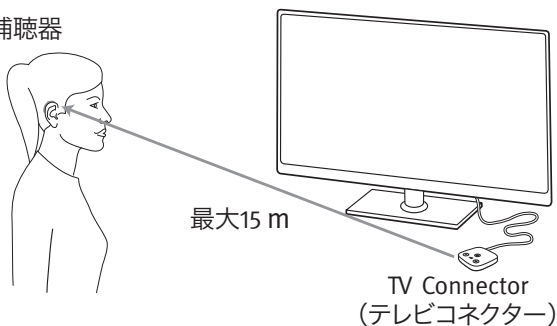
TV Connector の説明(テレビコネクター)	2
TV Connector の各部名称(テレビコネクター)	3
スタートガイド	4
ステップ1: 電源装置の接続	4
ステップ2: 音源への接続	6
ステップ3: TV Connector と補聴器を接続 (テレビコネクター)	9
TV Connector (テレビコネクター) のオン/オフを切り替える	11
TV Connector の日常使用(テレビコネクター)	12
TV Connector (テレビコネクター) の音量を調節する	14
テレビと環境音の音量バランスを調節する	14
TV Connector と電話(テレビコネクター)	15
音声送信をオフにする	15
LED表示ライトについて	16
トラブル対応ガイド	17
警告	21
製品の安全に関する情報	23
記号の情報と説明	25
コンプライアンス情報	27
その他の注意事項	29

TV Connector の説明

(テレビコネクター)

TV Connector (テレビコネクター) を使用すると、お手持ちの補聴器をテレビや他の音源にワイヤレス接続できます。ワイヤレス音声信号は最大15 mまで離れた補聴器に送信します。互換性のあるモデルの補聴器でのみご利用いただけます。詳細は、補聴器購入店にお尋ねください。

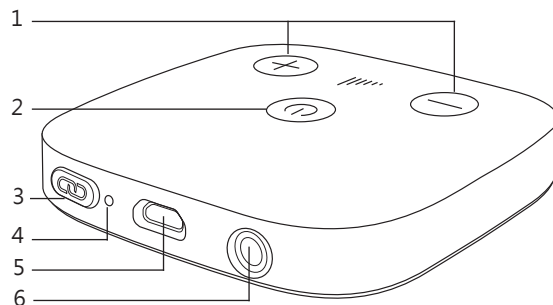
補聴器



- ① 補聴器とTV Connector (テレビコネクター) の間で見通しをよくしておく必要はありません。ただし、壁や家具などの障害物があると、動作範囲が狭まる場合があります。

TV Connector の各部名称

(テレビコネクター)

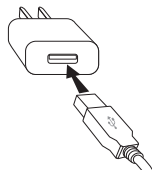


- 1 音量調節ボタン
- 2 電源ボタン
- 3 接続ボタン
- 4 LED表示ライト
- 5 マイクロUSB電源ポート
- 6 音声ポート:
 - 光デジタル (TOSLINK) オーディオケーブル
 - 3.5mmアナログオーディオケーブル

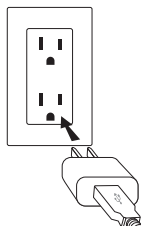
スタートガイド

ステップ1: 電源装置の接続

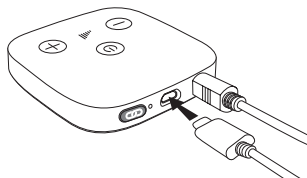
1. USBケーブルの大きい方の端を電源装置に差し込みます。



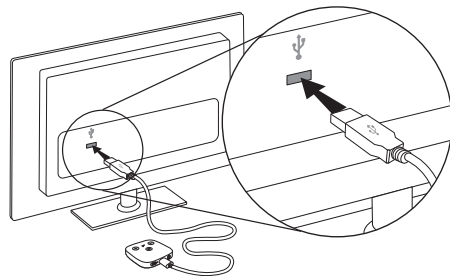
2. 電源装置を壁面コンセントに差し込みます。



3. マイクロUSBケーブルの小さい方の端をTV Connector (テレビコネクター) のマイクロUSB電源ポートに差し込みます。



その他、テレビのUSBポートにマイクロUSBケーブルの大きい方の端を差し込むと、テレビに取り付けたマイクロUSBケーブル経由でTV Connector(テレビコネクター) に電力を供給することもできます。



- ① 初めて電源に接続すると、TV Connector (テレビコネクター) の電源が入ります。電源が接続されているときにTV Connector (テレビコネクター) の電源が自動的に入らない場合は、電源ボタンを2秒間長押しして本製品の電源を入れます。

ステップ2: 音源への接続

TV Connector (テレビコネクター) は、テレビ、PC、ステレオシステムなどのあらゆる音源に接続できます。本製品は、2種類のオーディオケーブル入力、光デジタル (TOSLINK) またはアナログ入力に対応しています。上記オーディオケーブルのいずれかをTV Connector (テレビコネクター) の専用オーディオポートに接続する必要があります。



光デジタル (TOSLINK)

光デジタル信号ファイバーケーブル (TV Connector (テレビコネクター) にあらかじめ取り付けられています)

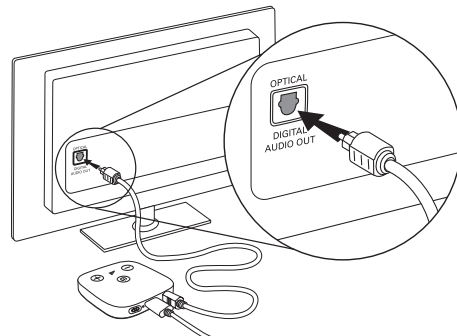
アナログ

3.5mmオーディオケーブル (オプション)

- ① 音源と互換性のあるオーディオケーブルを選択します。
- ① 選択したオーディオケーブルがTV Connector (テレビコネクター) と音源の両方にしっかり挿入されていることを確認します。

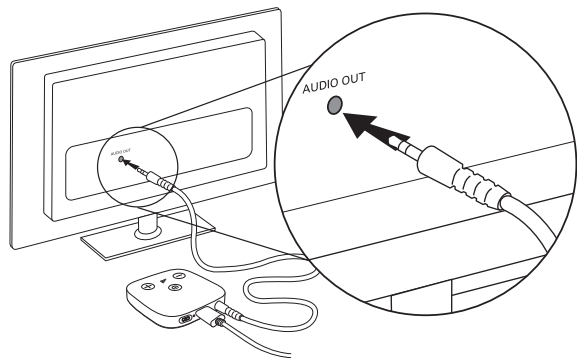
光デジタルケーブルでの接続

光デジタル (TOSLINK) ケーブルの接続されていない方の端をテレビ (または音源) の光デジタル音声出力に接続します。



オプション：アナログケーブルでの接続

付属の光デジタル (TOSLINK) ケーブルを 3.5 mm アナログオーディオケーブルに取り替えます。アナログケーブルの一方の端をTV Connector (テレビコネクター) に差し込み、反対側の端をテレビ(または音源) の出力ポートに接続します。




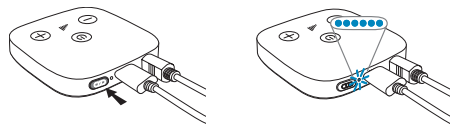
- ① 3.5mmアナログオーディオケーブルで接続する際にテレビのスピーカーの電源をオフにする場合は、代わりに光デジタルオーディオケーブルを使用してください(「光デジタルケーブルで接続する」を参照してください)。

ステップ3: TV Connector と補聴器を接続 (テレビコネクター)

- ① TV Connector (テレビコネクター) を初めて電源に接続すると、補聴器への接続は自動的に行われます。接続が成功すると、補聴器の確認音が鳴ります。

新しい補聴器をTV Connector (テレビコネクター) に接続する方法：

- TV Connector (テレビコネクター) の背面にある接続  ボタンを押すと、LED表示ライトが青色に点滅し始めます。



- 補聴器の電源が入っており、TV Connector (テレビコネクター) から1m以内にあることを確認します。

- 接続が成功すると、補聴器の確認音が鳴ります。確認音は最長10秒間鳴ります。



- ① TV Connector (テレビコネクター) は、接続プロセス中に、動作範囲内にある互換性のある補聴器に接続します。最初の接続後、TV Connector (テレビコネクター) が使用可能になると、補聴器が自動的に検知します。

TV Connector (テレビコネクター) のオン/オフを切り替える

TV Connector (テレビコネクター) の電源ボタンは、本体上部にあります。

TV Connector (テレビコネクター) の電源を入れるには：

- 電源ボタンを2秒間長押しします
- TV Connector (テレビコネクター) の電源が入ると、本体背面のLED標識ランプが点灯します

TV Connector (テレビコネクター) の電源を切るには：

- 電源ボタンを2秒間長押しします
- TV Connector (テレビコネクター) の電源が切れると、本体背面のLED標識ランプが消灯します

TV Connector の日常使用

(テレビコネクター)

テレビまたは音源の電源を入れます。
TV Connector (テレビコネクター) の電源が入ると、自動的に、接続された補聴器に音声信号を送信します。



- ① 左右どちらかの補聴器のプッシュボタンを押して、入力された音声信号を受信する必要がある場合があります。

補聴器で直接音声を聞くことができます。

- ① 音声入力を利用できない場合、TV Connector (テレビコネクター) は自動的に補聴器への音声送信を停止します。LED表示ライトが赤色に点灯します (スタンバイモード)。LED標識ランプが白色に点灯します (スタンバイモード)。
- ① TV Connector (テレビコネクター) は Dolby Audio™ (ドルビーオーディオ)、ステレオ、モノラル音声信号に対応しています。テレビまたは音源でDTS音声設定が使用されていないことを確認してください。上記のオーディオ信号が存在する場合、TV Connector (テレビコネクター) のLED標識ランプが赤く点滅します。テレビまたは音源の音声設定メニューで、音声信号をDolby Audio™ (ドルビーオーディオ) またはステレオ (PCM) に変更してください。あるいは、3.5 mmアナログオーディオケーブルに取り替えてください。

補聴器がTV Connector (テレビコネクター) の動作範囲外にある場合、TVプログラムから切り替わります。補聴器がTV Connector (テレビコネクター) の動作範囲内に戻ると、音声信号は自動的にストリーミングを再開します。

- ① TV Connector (テレビコネクター) の動作範囲は最大15 mです。

TV Connector (テレビコネクター) の音量を調節する

TV Connector (テレビコネクター) から送信されている音声の音量を調節するには:

- TV Connector (テレビコネクター) 上部の音量調節 (+) ボタンを押します
- TV Connector (テレビコネクター) 上部の音量調節 (-) ボタンを押します。

接続されている補聴器で確認音が鳴り、音量が変化したことがわかります。

- ① TV Connector (テレビコネクター) から送信される音声の音量は、TV Connector (テレビコネクター) の電源が入った状態で音声を送信している場合にのみ調節できます。この音量は、音源からの音量とは無関係に調節されます。

テレビと環境音の音量バランスを調節する

補聴器でテレビの音量を調節するには、補聴器のボリュームコントロールを使用します。

TV Connector と電話 (テレビコネクター)

補聴器が携帯電話に接続されている場合は、TV Connector (テレビコネクター) を使用しているときでも、通話を受信できます。





着信があると、補聴器は自動的にTV Connector (テレビコネクター) からの音声信号受信を停止し、着信通知が補聴器から再生されます。通話終了後、補聴器は自動的にTV Connector (テレビコネクター) からの音声信号受信に切り替わります。

音声送信をオフにする

TV Connector (テレビコネクター) からの音声信号の送信は、テレビまたは音源の電源を切るだけで終了します。TV Connector (テレビコネクター) が自動的に待機モードに切り替わり、補聴器はテレビプログラムから切り替わります。あるいは、本体上部にある電源ボタンでTV Connector (テレビコネクター) の電源を切ります。

- ① 他にもテレビを見ている（または音源を聞いている）人がいる場合は、補聴器のプッシュボタンで自動プログラムに戻すこともできます。このオプションは、補聴器の購入店でプログラムする必要があります。

LED表示ライトについて

緑色に点灯		電源が入っており、音声を送信中
白色に点灯		電源は入っているが、音声は送信していない(スタンバイモード)
青色で点滅		接続モード
赤色で点滅		音声入力方式を間違えている (DTS)
LED標識ランプが反応しない		電源が切れている

トラブル対応ガイド

原因

考えられる解決策

問題：音源から音が聞こえない、LED表示ライトが白色に点灯している

音源の電源がオフになっている

音源の電源を入れてください

ケーブルがTV Connector (テレビコネクタ) または電源に正しく差し込まれていない

すべてのケーブルが正しい端子にしっかり差し込まれていることを確認してください。「ステップ2: 音源への接続」をご参照ください

オーディオケーブルが音源の音声入力端子に差し込まれている

オーディオケーブルが音源の音声出力端子に差し込まれていることを確認してください

問題：音源から音が聞こえない、LED表示ライトが赤色に点滅している

間違った音声入力方式 (DTS) を使用している

音源の音声設定で、Dolby Audio™ (ドルビーオーディオ) またはステレオ (PCM) 音声形式を使用していることを確認してください。ステレオ音声に設定できない場合は、3.5mmアナログオーディオケーブルを使用してください。

原因	考えられる解決策
----	----------

音源から音が聞こえない、LED標識ランプが消灯している

TV Connector (テレビコネクター) が電源に差し込まれているが、電源が切れている。	LEDがオンになるまで、TV Connector (テレビコネクター) 上部にある電源ボタンを2秒間長押しします
---	--

問題：音源から音が聞こえない、LED表示ライトが緑色に点灯している

TV Connector (テレビコネクター) が補聴器に接続されていない	補聴器をTV Connector (テレビコネクター) に接続してください。「ステップ3：TV Connector (テレビコネクター) と補聴器を接続」をご参照ください
---------------------------------------	---

音源がミュート状態になっている	音源のミュートを解除するか、音量を上げてください
-----------------	--------------------------

問題：LED表示ライトが青色で点滅している

TV Connector (テレビコネクター) が接続モードになっている	「TV Connector (テレビコネクター) と補聴器を接続」をご参照ください
--------------------------------------	---

原因	考えられる解決策
----	----------

問題： ストリーミング中の音量が適切ではない (低すぎるか高すぎる)

音源が異なると、出力音量も異なる	「テレビと環境音の音量バランスを調節する」を参照してください。あるいは、本体上部にある音量ボタンでTV Connector (テレビコネクター) の音量を調節します。
------------------	---

問題： TV Connector (テレビコネクター) を接続後、テレビのスピーカーから音が出ない

テレビ側でヘッドホン接続が選択されている	テレビの音声設定を確認し、スピーカーとヘッドホン接続を同時に使用できるようにしてください。 あるいは、3.5mmアナログオーディオケーブルの代わりに光デジタル (TOSLINK) ケーブルを使用し、TV Connector (テレビコネクター) 音源に接続します。「光デジタルケーブルでの接続」をご参照ください
----------------------	--

原因	考えられる解決策
問題：補聴器のストリーミング音声と比べて、音源スピーカーから出る音が遅れる	
音源スピーカーの遅延設定が大き過ぎる	音源の音声設定メニューで音声遅延時間を調整してください（遅延を短くする）

警告

- ⚠ 本製品は3歳未満のお子様にはご利用いただけません。お子様が飲み込むと、窒息を引き起こすおそれのある小さな部品が含まれています。お子様、ペットなどの手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、直ちに医師または病院に相談してください。
- ⚠ 補聴器技能者がお客様専用プログラムした補聴器のみを使用してください。
- ⚠ 本製品に対して、Sonova AGが明確に承認していない変更または修正を加えることはできません。
- ⚠ TV Connector (テレビコネクター) は磁場を発生させる場合があります。TV Connector (テレビコネクター) が植込み型機器 (ペースメーカー、除細動器など) に影響を及ぼす場合は、TV Connector (テレビコネクター) の使用をやめ、医師または植込み型機器の製造元に相談してください。

- ⚠ 本製品を分解すると、製品を傷つけるおそれがあります。本書の「トラブル対応」セクションに掲載されているガイドラインに従っても解決できない問題が発生した場合は、補聴器購入店に相談してください。
- ⚠ 電気部品は、地方自治体の規制に従って廃棄してください。
- ⚠ 爆発の危険がある場所（爆発の危険がある鉱山や工業地域、酸素濃度が高い環境、可燃性麻酔薬が取り扱われる場所）や、電子機器の使用が禁止されている場所では、本製品を使用しないでください。
- ⚠ 外部機器は、対応するIECXXXXX規格に従って試験されている場合にのみ接続できます。アクセサリはSonova AG正規品のみを使用してください。
- ⚠ 安全上の理由から、Sonova AGが供給する充電器か、定格5V DC、500 mA（最小）の固定型充電器のみを使用してください。

製品の安全に関する情報

- ① ケーブル、ポート、電源装置に汚れやごみが付着しないようにしてください。
- ① 別のケーブルに接続するときは、無理な力を加えないでください。
- ① 本製品を過度の湿気（浴室や水泳場）や熱源（ラジエーター、テレビ上部）にさらさないでください。過度の衝撃や振動を与えないでください。
- ① 本製品は、湿らせた布でクリーニングしてください。家庭用洗剤（粉末洗剤、石けんなど）やアルコールを使用しないでください。電子レンジなどの加熱機器を使用して本製品を乾燥させないでください。
- ① X線放射やCT/MRIスキャンを行うと、本製品を破壊したり、正しく機能しなくなったりする場合があります。
- ① 本製品を落としたり破損した場合、過熱した場合、コードやプラグに破損がある場合、液体の中に落とした場合は、本製品の使用をやめ、補聴器購入店に連絡してください。

- ① 高出力の電子機器、大型の電子機器や金属構造が存在する場合は、動作範囲に干渉したり、大幅に縮小したりする場合があります。
- ① ケーブルをテレビ、音源、TV Connector (テレビコネクター) に差し込むときは、光デジタル (TOSLINK) ケーブルの光線から目を保護してください。

記号の情報と説明



CEマークは、本製品が無線機器指令2014/53/EUの要件を満たしているとSonova AGが確認したことを示すものです。



この記号が表示されている場合は、本取扱説明書に掲載されている関連項目を読み、参考にしてください。



本製品の製造元を示しています。



この記号が表示されている場合は、本取扱説明書に掲載されている該当する警告情報に注意してください。



取り扱いや製品の安全に関する重要な情報です。

動作条件 本製品は、本取扱説明書に特に明記されている場合を除き、説明に従って問題や制限なく使用することができます。



輸送温度および保管温度: $-20^{\circ}\text{C} \sim 60^{\circ}\text{C}$
動作温度: $0^{\circ} \sim 40^{\circ}\text{C}$



Dolby Laboratoriesのライセンスを受けて製造されています。Dolby Audio、およびダブルD記号はDolby Laboratoriesの商標です。全著作権所有。



湿気を避けてください。



本製品は、製品ラベルに記載されている特定のパラメーターを持つDC(直流)電源用に設計されています。



輸送中および保管中の湿度：90%以下(結露なきこと)。
動作湿度：90%以下(結露なきこと)。



大気圧：500 hPa ~ 1500 hPa



製品やそのパッケージにこの記号が記載されている場合は、他の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

不要になった製品を地方自治体の廃棄物処理手続きと分別して廃棄することは、お客様の責任です。

不要になった製品を正しく廃棄することで、環境汚染や人体への健康被害を防ぐことができます。

Easy Line Easy LineはSonovaの商標です。

© 著作権記号

コンプライアンス情報

適合宣言

Sonova AGは本製品が無線機器指令2014/53/ EUに準拠していることをここに宣言します。適合宣言の全文は、製造元から入手できます。

オーストラリア/ニュージーランド：



R-NZ

ニュージーランドおよびオーストラリアにおける本製品の合法的な販売を目的として、無線周波数管理課(RSM)およびオーストラリア通信メディア庁(ACMA)の設ける適用規制を遵守していることを示します。コンプライアンスラベル「R-NZ」は、適合レベルA1の下でニュージーランド市場において供給される無線製品に表示されます。

注記1：

本製品はFCC規則第15部およびカナダ産業省RSS-210に準拠しています。動作は、次の2つの条件を前提としています。

- 1) 本製品が有害な電波干渉を引き起こす可能性は低いです。
- 2) 本製品は、望ましくない動作の原因となり得る干渉を含む、あらゆる干渉を受信する場合があります。

注記2：

本製品に対して、Sonova AGが明確に承認していない変更または修正を加えると、本製品の操作に対するFCCの認可を無効にする場合があります。

ユニترون社 日本総代理店 製造販売元
42年間の実績
ニュージャパンヒヤリングエイド株式会社
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-5-1
電話番号: 03 (3269) 4133 (代)
www.njha.co.jp



www.njha.co.jp

